

歳出 69億4,487万円

(対前年度増減率 16.6%)

【使われるお金】

障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療などに

民生費
27億5,287万円(48.4%)

広報、空港対策、交通安全、防災、税務、戸籍、選挙、統計、監査などに

総務費
9億448万円(2.9%)

町道の維持管理、排水路の整備、都市計画、公園などに

土木費
7億8,501万円(10.7%)

健診、予防接種、環境、清掃、水道、病院などに

衛生費
7億7,354万円(▲0.3%)

幼稚園や小・中学校の管理運営、青少年教育、コミュニティプラザ、文化ホールの管理運営、文化財保護、保健体育、学校給食などに

教育費
6億4,309万円(1.2%)

組合消防の負担金に

消防費
3億7,232万円(2.4%)

町債(借入金)の元利償還金に

公債費
3億1,066万円(0.2%)

農業委員会、農業振興、園芸や畜産の振興、土地改良、道の駅、林業振興などに

農林水産業費
2億5,602万円(▲2.0%)

議会運営に

議会費
9,580万円(0.4%)

商工業振興に

商工費
2,773万円(▲51.1%)

災害復旧費、諸支出金、予備費に

その他
2,335万円(▲78.3%)

()内は対前年度増減率・▲は減



⑧木造住宅耐震改修補助金事業
震災に強いまちづくりの推進を目的に、木造住宅の耐震住宅を行う方に対し、その費用の一部について補助金を交付します。

⑦住宅用太陽光発電設備補助金事業
地球温暖化の防止および地域における再生可能エネルギー導入促進を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対し、その費用の一部について補助金を交付します。

⑥デマンドタクシー試行運行事業
公共交通の利便性の向上を図るため、昨年度に引き続きデマンドタクシーの試行運行を実施します。

歳入 69億4,487万円

(対前年度増減率 16.6%)

【入ってくるお金】

町税
18億648万円(3.2%)

町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などで、すべての歳出予算に充てられる一般財源となります。

地方交付税
15億3,000万円(▲2.5%)

その市町村における標準的な税収など(基準財政収入額)から、標準的な行政を行うために必要な経費(基準財政需要額)を差し引いた差額(不足となる場合)が地方交付税として交付されます。

国・県支出金
9億8,411万円(33.8%)

国や県が、法律で事業費の一部を負担する国庫(県)負担金、政策で事業費の一部を補助する国庫(県)補助金、委託する事務の事業費に充てる国庫(県)委託金です。

町債
9億3,740万円(59.9%)

町が借り入れる地方債で、民生債および臨時財政対策債です。

繰入金
8億8,204万円(74.7%)

特定目的歳出のために積立てた基金や、一般財源の不足を補うための財政調整基金を取り崩し、歳入に充てるものです。

交付金
2億3,078万円(▲0.2%)

市町村の財源となる税などを国や県が合わせて徴収し市町村に交付するもので、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、配当割交付金です。

地方譲与税
8,203万円(▲5.7%)

国が徴収した税の一部を市町村に譲与するもので、自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税、航空機燃料譲与税です。

その他
4億9,203万円(11.0%)

分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄付金、諸収入、繰越金で、主なものは保育料や成田国際空港周辺対策交付金などです。

平成25年度の主要事業

平成25年度予算には、次の事業に取り組むための経費が組み込まれています。

- ①(仮称)多古こども園建設事業
幼児教育と子育て支援の充実を図るため、幼稚園と保育所を一元化した(仮称)多古こども園を建設します。
- ②町道飯笹・西古内線道路改良事業
成田国際空港の社会的、経済的効果を町の東側に波及させる東西道路構想の1路線として、町道飯笹・西古内線道路改良事業を引き続き推進します。
- ③防災行政無線戸別受信機デジタル化更新事業
防災行政無線戸別受信機のデジタル化を引き続き行います。
- ④西古内グラウンド整備事業
西古内グラウンド内の排水施設および進入路等を整備します。
- ⑤町勢要覧作成事業
町村合併60周年を記念し、町勢要覧を作成します。